

平成30年度 全国健康保険協会岩手支部第1回評議会 議事概要

【開催日時】 平成30年7月18日（水）14:00～16:00

【開催場所】 朝日生命盛岡中央通ビル2階 B会議室

【出席者】 浅沼隆 大槻忍 小野寺聡子 川井博之 齋藤俊明 藤村文昭
三田地宣子（五十音順、敬省略）

【議題】

1. 平成29年度決算（見込み）及び支部収支について
2. 平成29年度岩手支部事業計画の実施状況について
3. その他報告事項
 - ・平成30年度健康経営アワードの実施について
 - ・第4回健康川柳コンクールの実施について

【議事の経過】

支部長挨拶後、各議題について協会より説明を行い、その後出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。

- （1）平成29年度決算（見込み）及び支部収支について

質問【被保険者代表】

年齢階層別での平均標準報酬月額、及び岩手支部における平均標準報酬月額の推移についてご教示願いたい。

回答

平均標準報酬月額にかかる年齢階層別のデータは持ち合わせていない。なお、岩手支部における平均標準報酬月額は、平成28年4月は239,665円、平成29年4月は241,301円である。ちなみに、平成29年4月の全国平均は282,824円であり、岩手支部との差は約4万円となっている。

質問【被保険者代表】

被保険者数・加入者数増加の要因は何か。また、平成28年度より実施されている、短時間労働者にかかる社会保険の適用拡大による決算への影響はどの程度あるのか。

回答

主な要因としては、日本年金機構の適用促進対策によるものと考えられる。また、短

時間労働者への適応拡大については、平成29年4月に対象が500人以下の事業所に対しても拡大されており、その影響もあったものと思われる。なお、平成28年度における数値ではあるが、短時間労働者の適用拡大による決算への影響については、40億円程度の財政負担の減少があった。

(2) 平成29年度岩手支部事業計画の実施状況について

<企画総務・保健部門>

質問【被保険者代表】

岩手県の脳血管疾患による年齢調整死亡率が平成22年に男女ともワースト1位だったとあるが、今回の調査結果はいつ公表されるのか。

回答

直近では平成27年の調査結果が公表されているが、岩手県は男性がワースト3位、女性がワースト1位であった。

なお、岩手県は食塩摂取量が多い地域であるが、先日参加した岩手県脳卒中予防県民会議において、平成28年のある調査結果で岩手県の食塩摂取量は全国平均並みまで改善しているとの報告があった。岩手県における各種取組みの効果の表れと思われる、平成32年の当年齢調整死亡率も改善しているのではないかと期待をしている。

質問【学識経験者】

健診にかかる対象者数が増える中で実施率の目標値も28、29年度と上がっていたが、30年度は下げられている。どのような考え方によるものか。

回答

29年度までは本部より現実と乖離した高い目標値を設定されており、支部の実情に合わない面もあった。30年度からは支部毎の乖離等を考慮し、本部より最低限達成すべき特定健診実施率が示され、それに基づき各支部において各健診の目標値を設定したところである。これまでよりも各支部の実情にあった内容となっており、目標達成に向けて職員一丸となって取組みを進めているところである。

質問【学識経験者】

本部から示された数値は、どのような考え方によるものであったのか。

回答

協会全体の特定健診実施率の目標値を定め、その上で各支部における特定健診実施率、

及び実施者数の伸びを加味して設定されたものであるが、その詳細については示されていない。

質問【学識経験者】

各種審議会等において保険者間の連携強化についてご発言されているが、保険者協議会において保険者間の認識の違いはあるか。これまでの経緯をみると、県は当事者意識が低いのではないかと感じる。

回答

今年度より県が国保の保険者として加わった事もあり、各保険者と連携した取組みにより、保険者全体で保健事業等の底上げを図っていく必要があると感じている。なお、協会においてはこれまでの働きかけが実り、健康経営宣言事業において県知事と支部長の連名で宣言勧奨を行うなど、県との連携も進んできている。今後も地道に意見発信等を積み重ね、「オール岩手」として県や各保険者と連携をして、各種事業を展開していきたい。

<業務・レセプト部門>

質問【事業主代表】

資格喪失後受診を防止するための、マイナンバーを活用した資格を確認できるシステムは現時点では存在しないのか。

回答

マイナンバーを活用して資格確認できるシステムについては現在国で検討中であるが、事業所からの届け出自体が遅れたケース等、結果として資格喪失後受診が発生する可能性はシステム構築後もありうる。

(3) その他報告事項

- ・平成30年度健康経営アワードの実施について
- ・第4回健康川柳コンクールの実施について

質問・意見等なし。